TOSHIBA

東芝ＣＣＤカラーカメラ

取扱説明書 保証書付

形名

IK-647
IK-647NP

このたびは東芝CCDカラーカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのカメラを安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになった後はいつでも手元においてご使用ください。

ホームページに最新の商品や周辺機器情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。

■ http://www.toshiba.co.jp/g_camera/

上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合はお手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

目　次

安全上のご注意 3
１．使用・設置上のお願い 7
２．構成 7
３．各部の名前と働き 8
４．カメラの接続及び操作のしかた １２
５．レンズ調整のしかた １２
６．ＤＡＹ／ＮＩＧＨＴ（デイナイト）機能 １４
７．ＷＤＲ（ワイドダイナミックレンジ）機能 １４
８．ホワイトバランス １５
９．音声出力 １５
１０．外部同期制御 １６
１１．ＲＳ－２３２Ｃ端子 １７
１２．外部制御端子 １７
１３．画面表示によるモード設定（ＯＳＤメニューの操作方法） １８
１４．スペシャルメニューによる設定 ３７
１５．最大ケーブル長（ＩＫ－６４７ＮＰ） ４６
１６．故障かな？！と思われたとき ４８
１７．保証とアフターサービス ４９
１８．仕様 ５０
１９．ＣＨＡＲＡ文字テーブル一覧表 ５１
２０．外観図 ５３

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示、図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表　示	表 示 の 意 味
⚠ 警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷[*1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定されること”を示します。

＊1 ： 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 ： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3 ： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

[図記号の説明]

図 記 号	図 記 号 の 意 味
禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警　告

■ 異常や故障のときは、すぐ使用をやめること

煙が出る、こげくさい、落として破損した、内部に水や異物が入ったなどの、異常状態で使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

■ 風呂、シャワー室には置かないこと

火災・感電の原因となります。

■ 水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

■ 修理・分解・改造はしないこと

火災・感電の原因となります。
内部の修理・点検・清掃は販売店にご依頼ください。

■ 指定された電源を使用すること

指定された電源以外では、火災・感電の原因となります。4 項「カメラの接続及び操作のしかた」を参照してください。

■ 本機の上に物を置かないこと

金属類や液体など、異物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所、傾いた所、振動のある所に置かないこと

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

■ 電源コードは、

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
・引っ張ったり、重い物を載せたり、はさんだりしないこと
・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

守らないと、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
もし、電源コードが傷んだ場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

■ 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら、カメラ、電源プラグ、接続コードに触れないこと

感電の原因となります。

⚠ 注　意

指　示

■ 設置の際は次のことを守ること
・逆さま、あおむけ、横倒しにしない
・テーブルクロスなどを掛けない
・じゅうたんや布団などの上に置かない
・熱のこもりやすい狭い場所に押し込まない
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁　止

■ 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かないこと
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

禁　止

■ 湿気・油煙・湯気・ほこりの多い場所に置かないこと
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

■ レンズで太陽を見ないこと
レンズを太陽光など強い光が当たる場所に置かないこと
光が焦点に集まり、目を痛めたり、火災の原因となることがあります。

濡れ手禁止

■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。

指　示

■ 定期的（おおむね 5 年に 1 度）に点検・内部清掃を販売店にご依頼ください
内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。
点検・清掃費用については販売店にお尋ねください。

免責事項について

- 地震、火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身又は権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

著作権についてのご注意

お客様が監視カメラで記録した画像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権法等に抵触する場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

1. 使用・設置上のお願い

● **取扱はていねいに**
落下させたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。また、接続ケーブルは乱暴に取り扱わないでください。ケーブル断線の恐れがあります。

● **強い光を撮らないで**
画面の一部分にスポット光のような強い光があたるとブルーミング*1、スミア*2を生じることがありますのでさけてください。強い光が入った場合、画面に縦縞が現れることがありますが故障ではありません。また、被写体の近くに強い光があった場合にゴーストが発生することがあります。このような場合は撮影の角度をかえてください。

● **画面ノイズの入らない場所に**
カメラ設置、ケーブル類の配線に際し、電灯線やテレビ受像器、PC関連機器が近くにある場合、画面ノイズが入ることがあります。そのときは位置や配線をかえてください。また、携帯電話などの電波を発信する機器を接近させたり、それらの機器の中継アンテナ付近に設置すると画面にノイズが入ることがあります。

● **モアレの発生**
細かい縞模様を撮ると実際にはない縞模様（モアレ）が干渉ジマとして現れることがありますが、故障ではありません。

● **使用周囲温度・湿度は**
使用周囲温度範囲は－10℃～＋50℃、湿度は30%～90%です。この範囲外でのご使用は、画質の低下や内部の部品に悪い影響を与えます。このような場所でのご使用は、さけてください。

● 高温多湿な場所での使用には十分ご注意ください。高温で長時間連続使用すると部品の劣化により寿命が短くなります。40℃以下の温度条件でご使用することをお薦めします。

● **屋外使用は保温カメラケースへ実装**
屋外使用の場合は必ずカメラケースへ実装し、ヒータ等を用いて保温を実施ください。ヒータ容量は設置場所に応じて決定されます。(目安として寒冷地以外は約40W程度でサーモスタットによる温度コントロールを設置してください）詳細は最寄りの販売店へご相談ください。

● **長時間ご使用にならないときは**
安全のために電源の供給を停止しておいてください。

● **お手入れの際は**
電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりがとれにくいときは、うすめた中性洗剤を布に染み込ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。塗装や表示がはげたり、変質することがあります。レンズの清掃は、レンズクリーニングペーパーなどで行ってください。

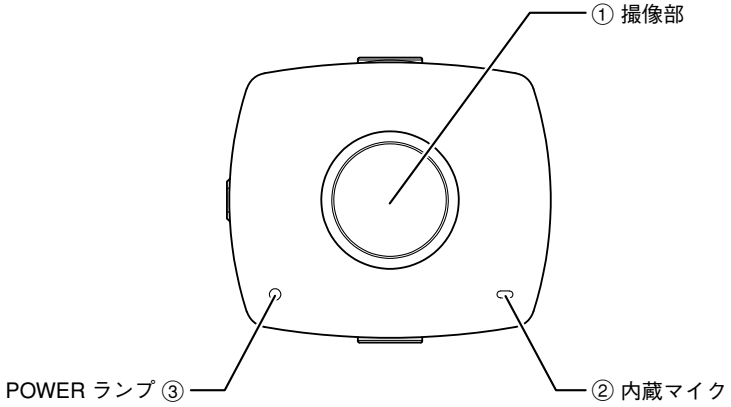
＊1 ： ブルーミングとは、強い光の周辺がにじむ現象です。
＊2 ： スミアとは、強い光の上下に縦縞が発生する現象です。

2. 構　成

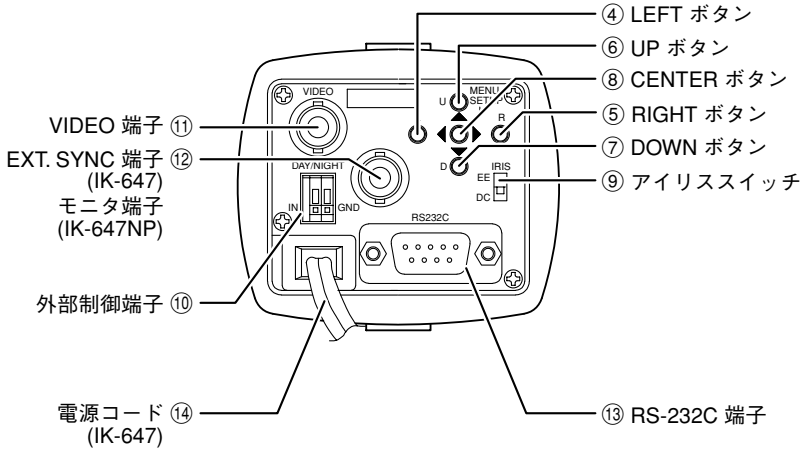
（1）カメラ本体 1
（2）付属品
　（a）取扱説明書 1

3. 各部の名前と働き

［前面］

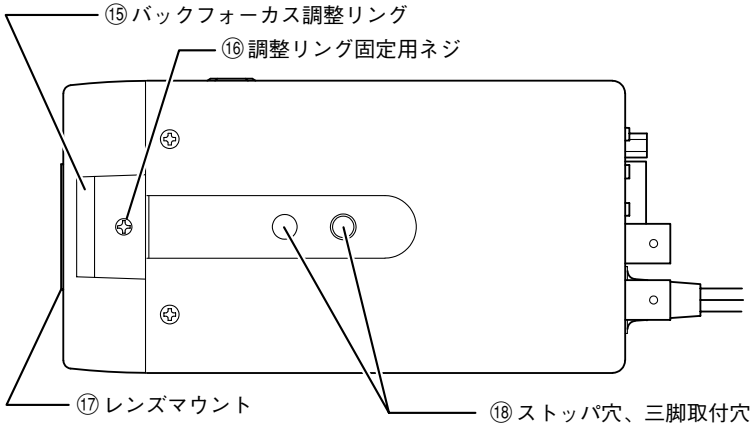


［背面］

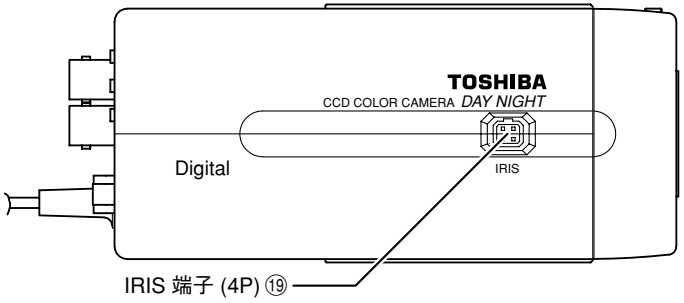


① 撮像部	撮像素子が取り付けてあります。ゴミ、ほこり、指紋などがつかないようにご注意ください。
② 内蔵マイク	無指向性マイクが内蔵されています。
③ POWER ランプ	電源が正しく供給されているときに点灯します。
④ LEFT ボタン	メニューのカーソルを左へ移動します。
⑤ RIGHT ボタン	メニューのカーソルを右へ移動します。
⑥ UP ボタン	メニューのカーソルを上へ移動します。
⑦ DOWN ボタン	メニューのカーソルを下へ移動します。
⑧ CENTER ボタン	メニューの開始、終了をします。 メニューの項目およびデータの決定をします。
⑨ アイリススイッチ	使用するレンズ（DC/EE）に合わせて切換えます。
⑩ 外部制御端子	DAY/NIGHT（デイナイト）制御を外部から行うときに接続します。
⑪ VIDEO 端子	· 映像の出力端子でビデオモニタや VTR 等の映像入力端子に接続します。（IK-647） · NP 電源アダプタに接続します。電源が入力されると同時に映像が出力されます。（IK-647NP）
⑫ EXT.SYNC 端子	外部から同期をかけるときに接続します。（IK-647）
モニタ端子	映像の出力端子です。ビデオモニタ等に接続します。（配線工事用）（IK-647NP）
⑬ RS-232C 端子	RS-232C により機能の制御を行うときに使用します。 RS-232C をご使用になる場合は、最寄りの販売店にご相談ください。
⑭ 電源コード	電源 AC100V を接続します。（IK-647）

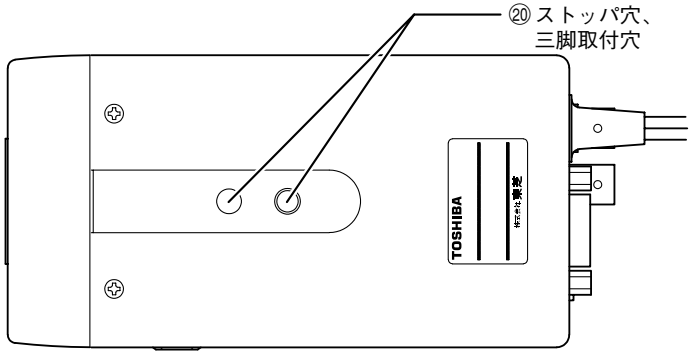
［上面］


⑮ バックフォーカス調整リング
⑯ 調整リング固定用ネジ
⑰ レンズマウント
⑱ ストッパ穴、三脚取付穴

［側面］


TOSHIBA
CCD COLOR CAMERA DAY NIGHT
Digital
IRIS
IRIS 端子 (4P) ⑲

［底面］


⑳ ストッパ穴、
三脚取付穴
TOSHIBA

⑮ バックフォーカス調整リング　　レンズのバックフォーカスを調整します。

⑯ 調整リング固定用ネジ　　バックフォーカス調整リングを固定します。

⑰ レンズマウント　　CS マウントレンズを取り付けます。

⑱ ストッパ穴，三脚取付穴　　カメラの上面を三脚に固定する時に使用します。

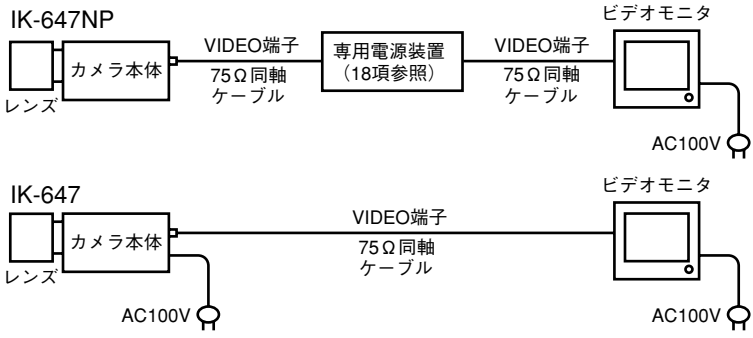
⑲ IRIS 端子　　自動絞りレンズを使用する時に接続します。

⑳ ストッパ穴，三脚取付穴　　カメラの底面を三脚に固定する時に使用します。

お願い

・カメラを三脚に固定する際は、三脚のストッパとカメラのストッパ穴がずれないように固定してください。
・三脚ネジは、カメラ内部に入る寸法が 6mm 以下のものをお使いください。

4. カメラの接続及び操作のしかた



お願い
- 取り付け工事の際、必ず各機器の電源プラグは抜いておいてください。
- ビデオモニタ等との接続には 75 Ωの同軸ケーブルが必要です。

（1） カメラ本体にレンズを取り付けます。使用可能なレンズは 5 項の「レンズ調整のしかた」をご参照ください。

（2） ・ VIDEO 端子から同軸ケーブルでビデオモニタ等の映像入力端子に接続します。（IK-647）
- VIDEO端子から専用電源装置を介して同軸ケーブルでビデオモニタ等の映像入力端子に接続します。ケーブルの最大延長距離は、5C-2V ケーブル使用時で最大 250m（デイナイト機能を使わない場合は 400m）です。複数台のカメラを接続できるマルチプレクサの場合は、そのトータルケーブル長を 15 項の「最大ケーブル長（IK-647NP）」に従ってご使用ください。

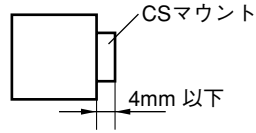
（3） 各機器を接続してカメラの電源（IK-647）又は、各機器の電源（IK-647NP）を入れます。

（4） 5 項を参照してレンズを調整し、最良の画像が得られるようにします。
- IK-647NPは配線工事時にモニタ端子よりビデオモニタ等で直接画像の確認ができます。

5. レンズ調整のしかた

5.1 使用可能なレンズ

CSマウントレンズは、マウント座面からの突出寸法が４ｍｍ以下のものをご使用ください。



お願い
- ズームレンズ等、400g以上のレンズを使用する場合は荷重負担による破損を防止するために、カメラ本体のみでなくレンズ側でも保持してください。
- 別売の CS-C 変換アダプター（JK-ADP-CS）を付けることによりＣマウントレンズを使用することもできます。
（この場合、画角が変わります。）

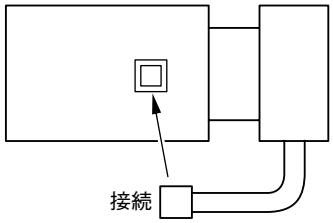
5.2 アイリス調整のしかた

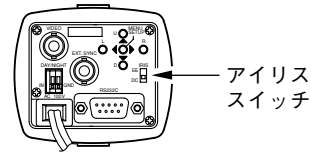
5.2.1 自動絞りレンズ

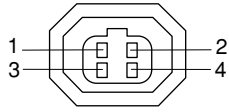
アイリスアンプ無しレンズ（DC）及びアイリスアンプ内蔵レンズ（EE）/（VIDEO）を使用する場合は、カメラ本体側面の 4P 端子にレンズの 4P アイリスコネクタ（中央無線製：E4-191J-100）を接続して、レンズに合わせてカメラ本体の背面にあるアイリススイッチを切換えます。（出荷時：DC）

DC レンズの場合は適正な露出（画面の明るさ）が得られるように OSD メニューの ALC の設定を調整します。操作方法は 13 項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。

EE（VIDEO）レンズの場合はレンズ側で調整します。







	EE レンズ	DC レンズ
1	EE 用電源 +9V（最大 50mA）	制動（−）
2	NC	制動（＋）
3	EE 用駆動信号	駆動（＋）
4	GND	駆動（−）

お願い

- アイリススイッチの切換やアイリスコネクタの接続を誤りますと、カメラ内部で発熱し、誤動作や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 自動絞りレンズを使用する時には、誤動作の原因になりますので「AES」設定で使わないでください。（13 項の「画面表示によるモード設定」を参照してください）
- 自動絞りレンズの絞り調整は被写体の光量が十分な環境下で一度開放状態にしてから行ってください。光量が不十分な場合、誤動作の原因になります。

5.2.2 固定絞りレンズ

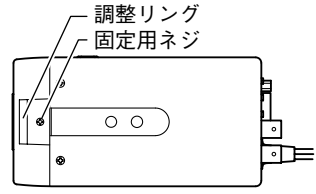
OSD メニューの SENS の設定を「AES」にすると、固定絞りレンズを使用した時に被写体の光量に合わせ最速で 1/100000s まで自動的に電子シャッタが働き、露出を自動的に合わせることができます。メニューの操作方法は 13 項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。

お願い

- 「AES」で使用する場合、蛍光灯等の放電灯照明のもとではフリッカ（ちらつき）が大きくなる場合があります。
- 屋外のような明るいところでは、自動絞りレンズのご使用をお薦めします。

5.3 バックフォーカス及び画角の調整のしかた

出荷時には標準のバックフォーカス位置に調整されていますが、ズームレンズの種類により若干の再調整を必要とする場合があります。バックフォーカスの調整は、レンズを正しく取り付けた状態で被写体の距離とレンズのフォーカス位置が正しく合うようにカメラ上部のバックフォーカス調整リングで調整します。
調整は固定用ネジをゆるめてから行い、終了後にしめてください。



6. ＤＡＹ／ＮＩＧＨＴ（デイナイト）機能

本カメラには、被写体の明るさを自動的に判断して、カラーモード／白黒モードを切り替える「DAY/NIGHT（デイナイト）機能」が搭載されています。たとえば屋外の被写体を監視している場合には、昼間は普通のカラーカメラとして動作しますが、夜間等十分な光量が得られない場合、カメラを自動的に白黒モードに切り替えることができます。また、カメラの背面にある外部制御端子から手動で制御することもできます。白黒モードでは近赤外領域での感度がアップしますので、市販されている近赤外ランプを使用されると、白黒の映像で暗闇の被写体をはっきり捕らえることができます。
本機能はOSDメニューで設定することができます。13項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。（出荷設定：カラーモード固定）

お願い
- カラーモードと白黒モードでフォーカスがずれる場合があります。
  このような時は近赤外光に対応したレンズをご使用ください。

ポイント
- DAY/NIGHT機能をAUTO（自動）でご使用の場合は、夜明けのように時間とともにだんだんと明るくなってくるような被写体では、いったん切り替った白黒モードからカラーモードへの移行に時間がかかることがあり、結果として朝方の映像が白黒になっている場合がありえますが、故障ではありません。

7. ＷＤＲ（ワイドダイナミックレンジ）機能

本カメラには、ダイナミックレンジを拡大するWDR（ワイドダイナミックレンジ）機能が搭載されています。本機能は、窓際に立つ人物を室内から写した場合に、人物に合わせて明るさを設定すると窓の外は白くつぶれてしまい、明るい窓の外（屋外）に合わせて明るさを設定すると人物が暗くなるような逆光状態の場合に効果があります。
本機能はOSDメニューで設定することができます。13項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。（出荷設定：OFF）
WDRをONに設定するとカメラが明るさを自動的に判断してWDR機能が動作します。AGCが動作するような暗い被写体ではWDR機能は動作せず、普通のカメラとして動作します。この場合はコマ数、垂直解像度は低下しません。

ポイント
- この機能はシャッタ速度の異なるフィールドの映像を合成することによりダイナミックレンジを拡大しています。そのため、この機能が動作すると1秒間に撮影できるコマ数、垂直解像度は約半分に低下しますが故障ではありません。
- コマ数、垂直解像度の低下が問題となる場合はWDRをOFFに設定して、BLC（逆光補正）でエリアを設定してご使用ください。ただし、この場合はWDR機能は動作しません。13項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。

8. ホワイトバランス

正しい色調の映像を得るためには、ホワイトバランスの調整が必要です。本カメラは自動（AUTO）／マニュアル（MANU）／固定（INDOOR1、INDOOR2、OUTDOOR）のいずれかの動作モードの選択が可能です。「AUTO」を選択するとカメラが自動的にホワイトバランスを合わせます。
AUTOの動作色温度範囲は約2500Kから7000Kです。ほとんどの状況ではAUTOで合わせることができますが、暗い被写体、白っぽいものがない被写体では上手く合わせることができない場合があります。このような場合は固定またはマニュアルモードで合わせてください。

設定モード	動作	特徴	備考
AUTO	カメラが自動的に色温度を測定し、ホワイトバランスを合わせます。	色温度の変化に自動追尾してカメラがホワイトバランスを合わせます。	動作色温度範囲は約2500Kから7000Kです。
MANU	白い被写体を写しながらR（赤）、B（青）のレベルを手動で調整します。	被写体に合わせて人為的に設定するため精度が高い。色温度の変化の少ない環境では有効です。	モニタまたはベクトルスコープで確認しながら調整を行います。
INDOOR1	白熱電球下の室内でホワイトバランスを最適に合わせます。	照明の条件が一定の環境で有効です。	色温度が約3000Kで最適なホワイトバランスとなります。
INDOOR2	蛍光灯下の室内でホワイトバランスを最適に合わせます。	照明の条件が一定の環境で有効です。	色温度が約4000Kで最適なホワイトバランスとなります。
OUTDOOR	屋外の環境でホワイトバランスを最適に合わせます。	屋外でのみ使用する場合に有効です。	色温度が約5200Kで最適なホワイトバランスとなります。

ポイント

・ナトリウム灯下ではAUTOモードで最適なホワイトバランスが得られない場合があります。そのような場合はAUTOモードの動作色温度範囲のリミッタを解除するか（スペシャルメニューの「AWB-FRM」をWIDEにする）、マニュアルモードで設定してください。
設定方法については13項の「画面表示によるモード設定」、14項の「スペシャルメニューによる設定」を参照してください。

9. 音声出力

本カメラはOSDメニューの設定により、映像信号に音声信号の多重をON/OFFすることができます。（出荷時：OFF）
音声を多重してご使用される場合には、OSDメニューの「AUDIO」の設定をONにしてください。操作方法は13項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。

お願い

・音声を出力する場合は、専用システムが必要になりますので販売店にご相談ください。専用システムを使用せずに音声多重をONしますと、画面の色が変化したりビートがでる場合があります。

10. 外部同期制御

本カメラを外部同期で使用する方法を下記に示します。同期の切換えは自動です。

IK-647NP の場合

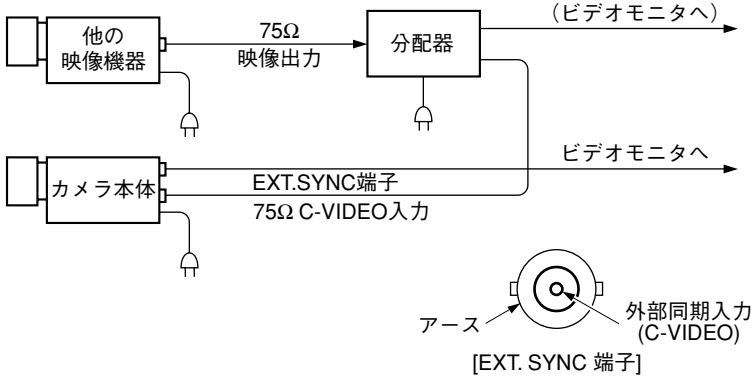
専用システムから映像出力に同期信号（VD)を多重します。
IK-647NP の同期信号の多重は専用電源装置のスイッチ切換で行うことができます。
詳しくは、専用電源装置の取扱説明書をご覧ください。

外部同期信号入力条件

VD	VD 部	4.0 ± 0.1V

IK-647 の場合

カメラの背面の端子「EXT.SYNC」に複合映像（VBS）信号を入力します。



[EXT. SYNC 端子]

外部同期信号入力条件

EXT.SYNC	SYNC 部	0.3 ± 0.1V
（75 Ω不平衡）	バースト部	0.3 ± 0.1V

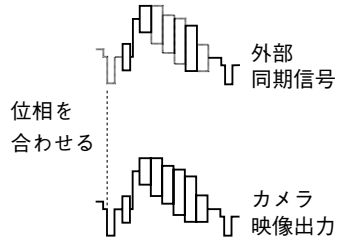
外部同期引込周波数範囲

NTSC 標準周波数に対して　± 50 ppm 以内
（水平周波数　15733.5 Hz ～ 15735.0 Hz）

必要に応じて、H（水平）位相と SC（サブキャリア）位相を調整します。

10.1 H（水平）位相合わせ（IK-647）

外部同期信号と本カメラの映像出力の波形を2現象オシロスコープで観測し、H位相が合うように OSD メニューの「SYNC」の「H-PHASE」を調整します。



10.2 SC（サブキャリア）位相合わせ（IK-647）

OSD メニューの「SYNC」の「SC-PHASE」で、0°, 90°, 180°, 270°の粗調整を行い、「SC-FINE」で微調整を行います。ベクトルスコープで位相調整をすると、より精度が高くなります。

11. RS－232C端子

RS-232C 端子からカメラを遠隔操作（制御）することができます。

11.1 通信プロトコル

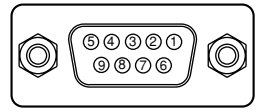
- RS-232C 準拠
- 調歩同期式ビットシリアル通信
- 転送速度　　：9600 b/s
- スタートビット：1 bit
- データ長　　：8 bit（LSB ファースト）
- パリティ　　：1 bit（ODD）
- ストップビット：1 bit

11.2 接続

D-SUB 9ピンコネクタのCONTROLLER（パソコン）とカメラの接続を下記に示します。

Pin	CONTROLLER	カメラ RS-232C 端子
1	(NC)	(NC)
2	RXD	TXD
3	TXD	RXD
4	DTR	DSR
5	GND	GND
6	DSR	DTR
7	RTS	CTS
8	CTS	RTS
9	(NC)	(NC)

RS-232C 端子 pin 配列



- DSR/DTR，RTS/CTS はカメラ内で接続しています。
- CONTROLLER（パソコン）との接続には、D-SUB 9ピンストレートケーブルをお使いください。

お願い

・制御項目やコマンドなどについては販売店にご相談ください。

12. 外部制御端子

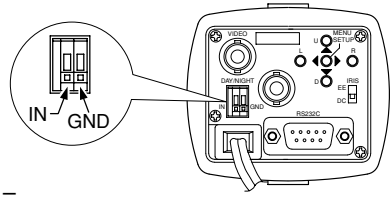
デイナイト機能を外部から制御する端子です。
端子の説明を下記に示します。

IN　：デイナイト機能の制御入力（カメラ内部で3.3Vにプルアップされています。ドライブ電流は最大 0.4mA です。）
GND：GND 端子

外部制御を有効にするには、OSD メニューの設定で「D/N」を「EXT」に設定してください。
操作方法については 13 項の「画面表示によるモード設定」を参照してください。

［制御方法］

カラーモード：端子オープン
白黒モード　：IN と GND をショート



13. 画面表示によるモード設定（ＯＳＤメニューの操作方法）

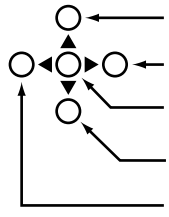
本カメラは、ビデオモニタ上に表示される画面メニュー（OSD メニュー）を見ながら、各種の設定を行うことができます。画面メニューにはメインメニュー（オプションメニューを含む）とスペシャルメニューの2種類あります。通常はメインメニューで多くの機能を設定できます。映像、機能の細かい設定を行いたい場合はスペシャルメニューで行います。スペシャルメニューの操作方法は 14 項の「スペシャルメニューによる設定」を参照してください。

- 感度（電子高感度、電子シャッタ）の設定（19 ページ参照）
- 逆光補正の設定（20 ページ参照）
- ホワイトバランスの設定（21 ページ参照）
- ＷＤＲの設定（24 ページ参照）
- 蛍光灯フリッカー補正の設定（25 ページ参照）
- 文字表示および文字入力の設定（25 ページ参照）
- 明るさの調整（29 ページ参照）
- AGC の最大ゲイン（上限値）の設定（30 ページ参照）
- 外部同期の位相合わせ（IK-647）（30 ページ参照）
- デイナイトの設定（31 ページ参照）
- 感度表示機能の設定（33 ページ参照）
- ホワイトバランスのオフセット調整（33 ページ参照）
- 逆光補正の補正量の調整（34 ページ参照）
- 音声機能の設定（35 ページ参照）
- 画面メニューの初期化（35 ページ参照）
- 画面メニューの終了（36 ページ参照）

画面メニュー（メインメニュー）を表示するには、CENTER ボタンを約2秒間押します。すると右図に示すメニューが表示され、現在の設定状態を示します。UP/DOWN/LEFT/RIGHT ボタンでカーソルを上下左右に動かし、設定したい項目（データ）に合わせ、UP/DOWN ボタンで設定を変更し CENTER ボタンで決定します。LEFT ボタンを押すと変更したデータに更新されず古いデータに戻ります。

終了するときはENDにカーソルを合わせて、CENTERボタンを押して画面メニューを終了します。

```
 --MAIN MENU--
 SENS      AUTO•X8
 BLC       OFF
 WB        AUTO
 WDR       OFF
 FLICKER   ON
 CHARA     OFF
 OPTION>
 INIT
 END
```



カーソルを上へ動かします。
また、データを大きくします。

カーソルを右へ動かします。

画面メニューの表示、終了および
項目、データの決定をします。

カーソルを下へ動かします。
また、データを小さくします。

カーソルを左へ動かします。

お願い

・画面メニューにて設定を変更したときは、必ずＥＮＤ にカーソルを合わせ、CENTERボタンを押して画面メニューを消してください。その時点で設定された内容がカメラに記憶されます。
画面メニューが表示されている状態でカメラへの電源の供給を止めると、表示されていた内容は記憶されず、前回設定したデータのままとなります。

13.1 SENS（感度の設定）

SENSは、電子高感度、電子シャッタの設定を行います。

（1）メインメニューのSENSにカーソルを合わせます。

```
 --MAIN MENU--
SENS     AUTO•X8
 BLC     OFF
 WB      AUTO
 WDR     OFF
 FLICKER ON
 CHARA   OFF
 OPTION>
 INIT
 END
```

（2）RIGHT ボタンを押します。するとカーソルは、AUTO（あるいはMANU、AES）に移動し、SENSで設定できる項目AUTO××、MANU××、AES××が表示されます。

（3）AUTO、MANU、AESの設定したいモードにUPボタン、DOWNボタンでカーソルを合わせます。

```
 --MAIN MENU--
 SENS    AUTO X8
 BLC     MANU X1
 WB      AES  X1
 WDR
 FLICKER
 CHARA
 OPTION>
 INIT
 END
```

（4）RIGHTボタンを押します。するとカーソルは××（右図では×8）に移動します。この状態で、UPボタン、DOWNボタンを押して希望のデータに合わせます。

（5）CENTER ボタンを押してデータを決定します。カーソルは、AUTOに戻ります。
ここでCENTERボタンを押すと、AUTOに決定し、カーソルはSENSに戻ります。

```
 --MAIN MENU--
 SENS    AUTO X8
 BLC     MANU X1
 WB      AES  X1
 WDR
 FLICKER
 CHARA
 OPTION>
 INIT
 END
```

① SENS AUTO について

SENS AUTO××を選択すると感度は×1～××の間で、カメラが明るさを検知し、AGC、電子高感度、デイナイトを組み合わせて自動的に最適な映像レベルに保ちます。この場合SENS AUTOのデータ××は自動感度設定の上限値を選ぶことになります。
設定できるデータは×1、×2、×4、×6、×8、×10、×12、×14、×16、×32、×64、×128です。

② SENS MANU について

SENS MANUは、カメラの電子シャッタあるいは、電子高感度の倍率を設定します。
カメラは、設定された電子シャッタあるいは電子高感度の状態でAGCにより自動的に映像レベルを保ちます。
設定できるデータは、1/10000、1/4000、1/2000、1/1000、1/500、1/250、1/100、×1、×2、×4、×6、×8、×10、×12、×14、×16、×32、×64、×128です。

③ SENS AES について

SENS AES ××は、カメラが明るさを検知し、電子シャッタ、AGC、電子高感度、デイナイトを組み合わせて自動的に最適な映像レベルに保ちます。この場合SENS AESのデータ××は自動感度設定の上限値を選ぶことになります。このモードは固定絞りレンズ、手動絞りレンズを使用する場合に使用します。SENS AESモードで自動絞りレンズを使用した場合は、レンズ絞りは開放状態となります。

設定できるデータは×1、×2、×4、×6、×8、×10、×12、×14、×16、×32、×64、×128です。

お願い

- SENS AUTO、MANUモードで、屋外等のAGCが動作しないような明るい状態で最適な映像レベルを保つには、自動絞りレンズをご使用ください。
- AGCがOFF の状態でSENS AUTO、SENS AESのデータを×2以上に設定した場合は、AGCは自動的に 18dB の設定となります。
- SENS MANUモードでは、デイナイトのAUTOモード、およびWDR機能は動作しません。

13.2 BLC（逆光補正の設定）

BLCは、逆光補正のエリアの設定を行います。

（1）BLCにカーソルを合わせます。

（2）RIGHTボタンを押します。するとBLCで選択できるデータOFF、UPPER 2/3、LOWER 2/3、CENTER 1/3、CENTER 1/6、SIDE 1/6、AUTOが表示され、現在選ばれているデータのところにカーソルが移動します。

```
--MAIN MENU--
SENS     AUTO•X8
BLC      OFF
WB       AUTO
WDR      OFF
FLICKER  ON
CHARA    OFF
OPTION>
INIT
END
```

（3）UPボタン、DOWNボタンでカーソルを移動し希望のデータにカーソルを合わせます。

（4）CENTERボタンを押し、データを決定します。カーソルはBLCに戻ります。

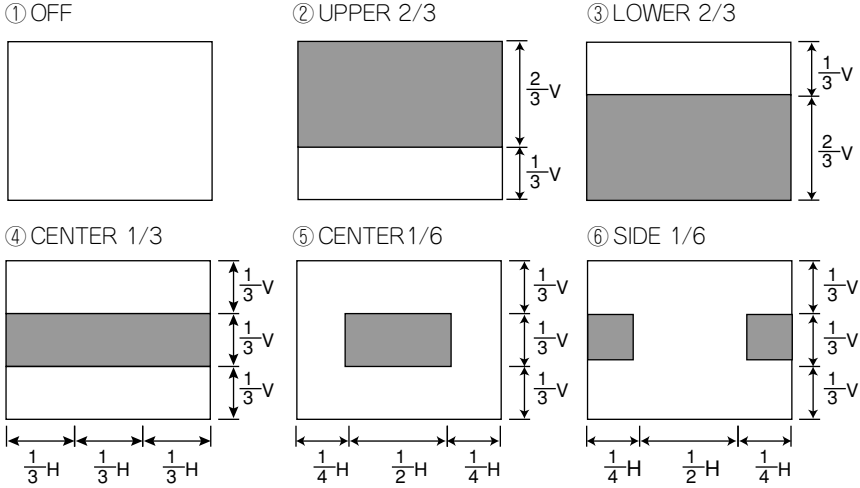
```
--MAIN MENU--
SENS
BLC      OFF
WB       UPPER2/3
WDR      LOWER2/3
FLICKER  CENTER1/3
CHARA    CENTER1/6
OPTION>  SIDE1/6
INIT     AUTO
END
```

逆光補正とは、選択したエリア内の明るさを最適な映像レベルにする機能です。

見たい部分以外に強い光が入り、自動絞りレンズの絞りが閉じぎみで動作することにより見たい部分が暗くなって見えにくくなる場合に有効です。そのような場合、見たい部分が選択エリアの中に入るようにエリアを設定してください。

補正量を調整したい場合は、13.14 BLC-DAT （逆光補正の補正量の調整）を参照してください。

エリアの大きさはほぼ次の通りです。
（塗りつぶしてある部分の映像レベルを適正に保ちます。）
BLC OFF のときは逆光補正を行いません。



⑦ AUTO
被写体の状況によって①～⑥のエリアを組み合わせて制御します。

お願い

・ AUTOモードは画面の暗い部分をカメラが自動的に判断し、その部分の明るさが最適となるように制御します。そのため、明るい部分の映像の一部が白飛びすることがあります。

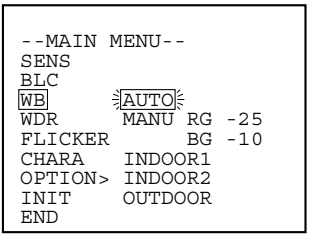
13.3 WB（ホワイトバランスの設定）

WBは、ホワイトバランスの設定を行います。

（1）WBにカーソルを合わせます。

```
 --MAIN MENU--
 SENS     AUTO•X8
 BLC      OFF
≒WB≒      AUTO
 WDR      OFF
 FLICKER  ON
 CHARA    OFF
 OPTION>
 INIT
 END
```

（2）RIGHT ボタンを押します。するとWBで選択できる項目、AUTO、MANU、INDOOR1、INDOOR2、OUTDOOR が表示され、現在選択されている項目にカーソルが移動します。



① AUTO を選択するとき

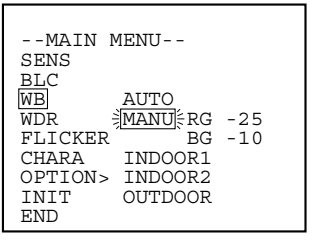
WB AUTOはカメラが自動的に色温度をはかり、ホワイトバランスを合わせます。このWB AUTO が選ばれているとき、オプションメニューのホワイトバランスのオフセット調整で白の収束点をR 方向あるいはB 方向にずらすオフセット機能を働かせることができます。（13.13 WB-OFST（ホワイトバランスのオフセット調整）を参照してください。）

（1）AUTO にカーソルを合わせ、CENTER ボタンを押します。
（2）するとカーソルは WB に戻り AUTO が選択されます。

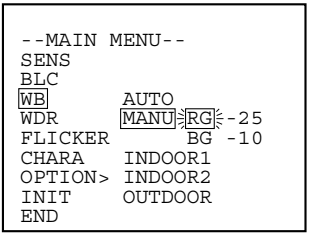
② MANU のとき

WB MANUは、手動（MANUAL）でRゲイン、Bゲインを操作してホワイトバランスを合わせるモードです。

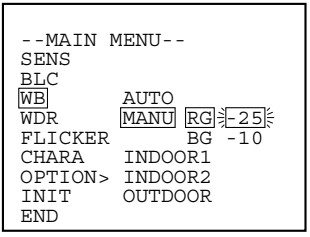
（1）WB の MANU にカーソルを合わせます。



（2）RIGHT ボタンを押します。
カーソルがRGに移動します。RGはRゲイン、BGはBゲインを示します。RGとBGの合わせたいほうに、UPボタン、DOWNボタンを使ってカーソルを合わせます。



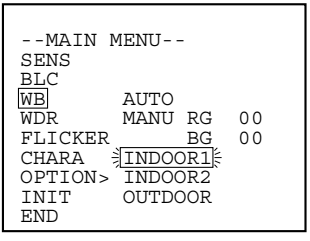
（3）RIGHT ボタンを押します。
カーソルはRG（あるいはBG）のデータに移動します。ここでUP ボタン、DOWN ボタンを使ってデータを変えてホワイトバランスを合わせます。
RG：R ゲインの設定（-99 ～ 99）
BG：B ゲインの設定（-99 ～ 99）



（4）CENTERボタンを押してデータを決定します。カーソルはRG（あるいはBG）へ戻ります。
（5）RG、BGの設定が終ったらカーソルがRG（あるいはBG）にある状態でLEFT ボタンを押します。
（6）するとカーソルは MANU に戻ります。
ここで CENTER ボタンを押すとカーソルは WB に戻り MANU が選択されます。

③ INDOOR1/INDOOR2/OUTDOOR を選択するとき
ホワイトバランスを特定の条件に固定するモードです。

（1）INDOOR1またはINDOOR2、OUTDOORにカーソルを合わせ、CENTER ボタンを押します。
（2）するとカーソルは WB に戻り選択したモードに設定されます。



ホワイトバランスについての説明は 8 項の「ホワイトバランス」を参照してください。

お願い
- 十分な照明が得られず被写体が暗い状態では、AUTOモードが誤動作する場合があります。そのような時はカメラの感度設定（AGC、電子高感度）を大きくするか、WB の固定モードでお使いください。
- 蛍光灯の種類によってはINDOOR2でホワイトバランスが最適にならない場合があります。その場合は他の設定に変更してみてください。

13.4 WDR（WDR の設定）

WDR は、ワイドダイナミックレンジ機能の設定を行います。

（1）WDR にカーソルを合わせます。
（2）RIGHT ボタンを押します。すると WDR で選択できるデータ OFF、ON：L、ON：M、ON：H が表示され、現在選ばれているデータのところにカーソルが移動します。
この機能をお使いになるときは、ON：L で使用することをお薦めします。

```
--MAIN MENU--
SENS      AUTO•X8
BLC       OFF
WB        AUTO
WDR       OFF
FLICKER   ON
CHARA     OFF
OPTION>
INIT
END
```

（3）UP ボタン、DOWN ボタンでカーソルを移動し希望のデータにカーソルを合わせます。
（4）CENTER ボタンを押し、データを決定します。
カーソルは WDR に戻ります。

```
--MAIN MENU--
SENS
BLC
WB
WDR       OFF
FLICKER   ON:L
CHARA     ON:M
OPTION>   ON:H
INIT
END
```

WDR は効果を ON：L、ON：M、ON：H の三種類から選択できます。ON：L、ON：M、ON：H の順でダイナミックレンジを拡大する効果が大きくなります。
WDR の効果、画質は 14 項の「スペシャルメニューによる設定」で細かく設定できます。

ワイドダイナミックレンジ機能についての説明は 7 項の「WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能」を参照してください。

お願い

- AGC、電子高感度が動作するような暗い被写体では WDR 機能は動作しません。
- SENS MANU モードでは WDR 機能は動作しません。
- EE（VIDEO）タイプの自動絞りレンズは明るさの設定をレンズ側で行うため、その設定によってはワイドダイナミックレンジ機能が上手く動作しないことがあります。その場合はレンズの設定を明るめに調整してください。
- 被写体の条件によって映像レベルが最適となるようにオプションメニューの ALC で明るさを調整することをお薦めします。操作方法は「13.8 ALC（明るさの調整）」を参照してください。
- 画面の中で見たい部分（エリア）が決まっている場合は逆光補正機能を設定すると、より効果的です。
- ON：M、ON：H はダイナミックレンジを拡大する効果が大きくなりますが、被写体の状態によっては映像が不自然に見える場合があります。その場合は ON：L でご使用ください。

13.5 FLICKER（蛍光灯フリッカー補正の設定）

FLICKERは、50Hz地域で発生する蛍光灯フリッカーを補正する機能です。ONにすると電子シャッタが 1/100s 固定となり蛍光灯フリッカーを除去します。

（1）メインメニューでFLICKER にカーソルを合わせます。

```
--MAIN MENU--
SENS     AUTO•X8
BLC      OFF
WB       AUTO
WDR      OFF
FLICKER  ON
CHARA    OFF
OPTION>
INIT
END
```

（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。
（3）UP ボタン、DOWN ボタンで ON（あるいは OFF）にカーソルを合わせます。
（4）CENTER ボタンを押し決定します。
カーソルは FLICKER に戻り ON（あるいは OFF）が選択されます。

```
--MAIN MENU--
SENS
BLC
WB
WDR
FLICKER  OFF
CHARA    ON
OPTION>
INIT
END
```

お願い

- FLICKER の設定は SENS AES、SENS MANU では機能しません。また、SENS AUTO の場合でも、電子高感度が動作した状態では機能しません。
- WDR 機能が動作すると、被写体の条件によってはフリッカーが発生する場合があります。

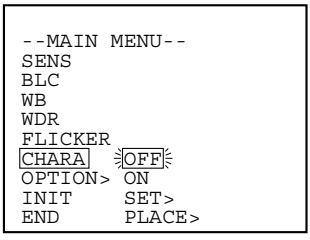
13.6 CHARA（文字表示および文字入力の設定）

CHARA は、文字表示の設定および表示文字の入力を行う機能です。
英数字、かたかな、記号、漢字の合計 253 文字から、最大 20 文字まで表示ができます。

（1）メインメニューのCHARAにカーソルを合わせます。

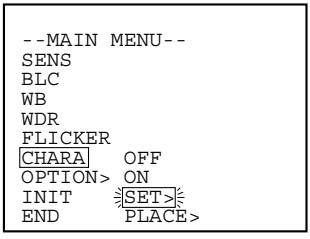
```
--MAIN MENU--
SENS     AUTO•X8
BLC      OFF
WB       AUTO
WDR      OFF
FLICKER  ON
CHARA    OFF
OPTION>
INIT
END
```

（2）RIGHT ボタンを押します。すると OFF、ON、SET>、PLACE> の項目が表示され、カーソルが OFF（あるいは ON）に移動します。

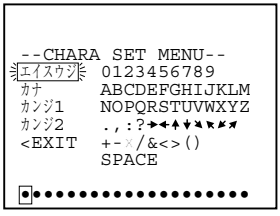


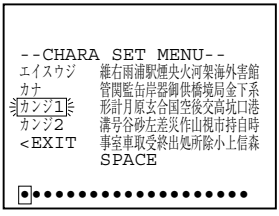
①表示文字の入力方法

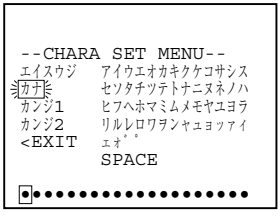
（1）カーソルを SET> に合わせます。
（2）RIGHT ボタンを押します。
（3）文字入力画面に切換わります。入力できる文字は、項目をエイスウジ、カナ、カンジ1、カンジ2と切換えると右側に入力できる文字テーブルが表示されます。

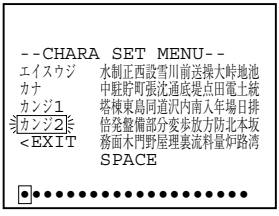


この4枚の画面の文字テーブルが入力できるすべての文字です。
詳しくは、19項の「CHARA 文字テーブル一覧表」を参照してください。

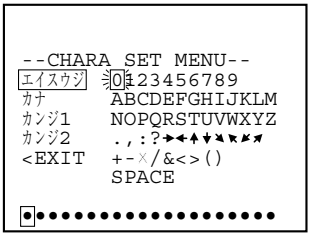




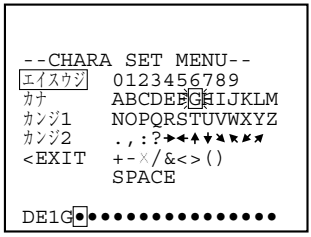




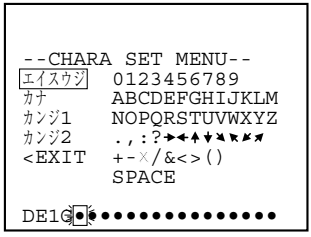
（4）UP ボタン、DOWN ボタンで入力したい文字のある項目（エイスウジ／カナ／カンジ1／カンジ2）にカーソルを合わせます。
（5）例としてエイスウジの入力画面で説明します。エイスウジにカーソルがある状態でRIGHTボタンを押します。
（6）カーソルは「0」へ移動します。
ここでUP、DOWN、LEFT、RIGHTの4つのボタンを操作して入力したい文字にカーソルを合わせ、CENTER ボタンを押します。



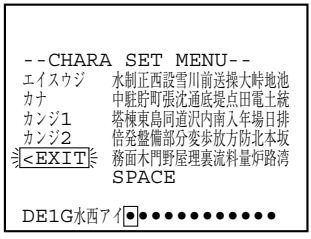
（7）決定された文字は画面下の20個の「●」のうちカーソルのある部分に入力されます。
文字は20文字入力できます。画面下の「●」は何も入力されていない（すなわちスペース）を意味します。



（8）文字を入力するに従って画面下のカーソルは右に移動します。画面下の入力された文字を表示している部分のカーソルを移動したいときは、DOWNボタンを押して、画面下の入力文字表示位置にカーソルを移しLEFTボタン､RIGHTボタンでカーソルを移動します。

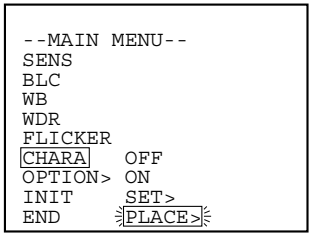


（9）文字の入力が終了したら<EXITへカーソルを合わせLEFTボタンを押します。
メインメニューに戻り､カーソルはSET>の位置にあります。

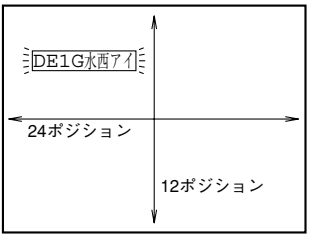


②表示文字の位置の選択

（1）カーソルをPLACE>に合わせRIGHTボタンを押します。



（2）入力された文字が表示されます。ここで、UP、DOWN、LEFT、RIGHT のボタンを使い表示文字を移動します。表示可能位置は、縦に 12 ポジション横 24 ポジションの中から選べます。
ただし、表示文字の最後の文字が画面の一番右の位置にくると、それ以上右へ動かすことはできません。
位置が決まったら CENTER ボタンを押します。



お願い

・表示文字が入力されていないとPLACE>にカーソルがある状態でRIGHT ボタンを押しても表示位置設定の画面にはなりません。

③表示文字の ON/OFF

（1）入力した文字を表示するには CHARA のメニューの ON にカーソルを合わせ CENTER のボタンを押します。
表示したくない場合は OFF を選択します。

```
--MAIN MENU--
SENS
BLC
WB
WDR
FLICKER
CHARA    OFF
OPTION>  ON
INIT     SET>
END      PLACE>
```

13.7 OPTION（オプションメニュー）

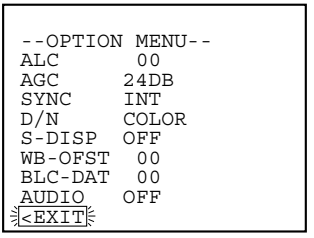
オプションメニューでは、次の項目が設定できます。

- 明るさの調整
- AGC の上限値
- 外部同期の位相合わせ（IK-647）
- デイナイト
- ホワイトバランスのオフセット
- 逆光補正量
- 音声機能
- 感度表示

（1）オプションメニューに入るには、メインメニューで OPTION> にカーソルを合わせ RIGHT ボタンを押します。

```
--MAIN MENU--
SENS     AUTO•X8
BLC      OFF
WB       AUTO
WDR      OFF
FLICKER  ON
CHARA    OFF
OPTION>
INIT
END
```

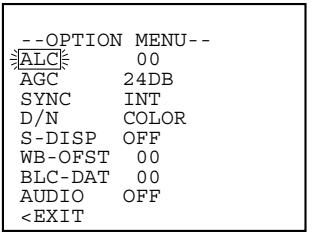
（2）オプションメニューからメインメニューに戻るには、オプションメニューで <EXIT にカーソルを合わせ LEFT ボタンを押します。



13.8 ALC（明るさの調整）

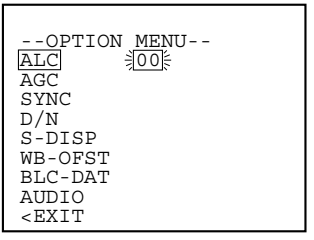
ALCは、映像の明るさを調整する項目です。カメラが自動で制御する明るさのレベルを調整します。被写体の条件によって映像レベルが最適となるように調整してください。

（1）オプションメニューで ALC にカーソルを合わせます。



（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。
UPボタン、DOWNボタンでデータを設定します。
データを大きくすると映像は明るくなり、小さくすると映像は暗くなります。
データは -99 から 99 の範囲で調整できます。

（3）希望のデータで CENTER ボタンを押して決定します。



お願い

- ALCは、DCタイプの自動絞りレンズ、AES、AGC、電子高感度で自動的に制御する明るさのレベルを調整します。
- EE（VIDEO）タイプの自動絞りレンズを使用する場合は、レンズ絞りで制御する明るさの領域はレンズ側で調整してください。この場合のALCは、AGC、電子高感度の明るさを設定することになります。

13.9 AGC（AGC の最大ゲインの設定）

AGCは、オートゲインコントロール回路の動作ゲインの最大値（上限値）を設定する項目です。工場出荷時は24dBに設定していますが、被写体が暗くてカメラの感度が不足する場合はこの設定を大きくします。

データを大きくすると、カメラの感度は大きくなりますが、最大ゲイン付近ではノイズも増加します。良い画質を得るためには照明を使用することをお勧めします。

（1）オプションメニューで AGC にカーソルを合わせます。

※ dBは、画面表示メニューにおいては “DB” と表示します。

```
--OPTION MENU--
ALC        00
AGC      24DB
SYNC     INT
D/N      COLOR
S-DISP   OFF
WB-OFST   00
BLC-DAT   00
AUDIO    OFF
<EXIT
```

（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。UPボタン、DOWNボタンにてデータを設定します。設定できるデータはOFF、18dB、24dB、30dB です。

（3）希望のデータに設定したら CENTER ボタンを押してデータを決定します。カーソルは AGC に戻ります。

```
--OPTION MENU--
ALC
AGC       OFF
SYNC      18DB
D/N     24DB
S-DISP    30DB
WB-OFST
BLC-DAT
AUDIO
<EXIT
```

お願い

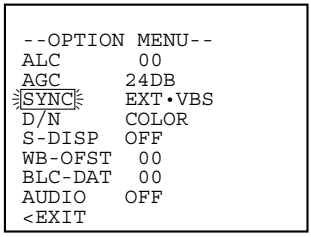
- SENS AUTO、SENS AESのデータを×2以上に設定した場合は、AGCはOFFに設定できません。
- AGCを設定しても感度が不足する場合は、電子高感度、デイナイト機能を設定するとさらに感度アップすることができます。電子高感度は「13.1 SENS（感度の設定）」を、デイナイト機能は「13.11 D/N（デイナイトの設定）」を参照してください。

13.10 SYNC（外部同期の位相合わせ）

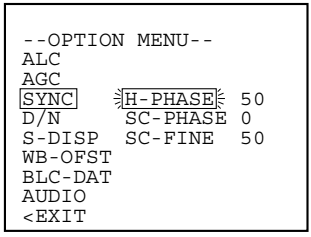
IK-647NP：SYNCは現在の同期モードを表示します。位相調整はできません。
内部同期モードの時はINT、外部同期モードの時はEXT・VRと表示します。
VR同期モードの位相調整は行えません。

IK-647　：外部同期モードの時に水平位相、サブキャリア位相を調整する項目です。
内部同期モードの時はINTと表示します。外部同期モードの時はEXT・VBSと表示し、位相調整を行えます。

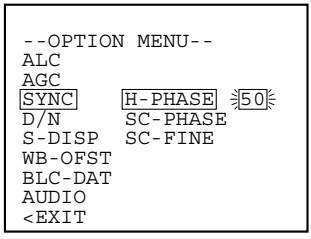
（1）オプションメニューでSYNCにカーソルを合わせます。



（2）RIGHTボタンを押し設定できる項目（H-PHASE、SC-PHASE、SC-FINE）を表示させます。
H-PHASE ：H（水平）位相合わせ
0～99
SC-PHASE ：SC（サブキャリア）粗調整
0, 90, 180, 270
SC-FINE ：SC（サブキャリア）微調整
0～99



（3）UP、DOWNボタンで設定したい項目（H-PHASE、SC-PHASE、SC-FINE）にカーソルを合わせ、ボタンを押すとデータが表示されます。UP、DOWNボタンでデータを設定しCENTERボタンを押しデータを決定します。



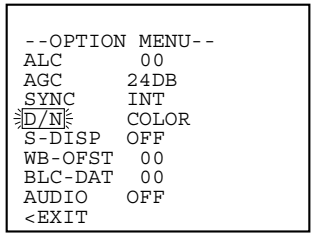
外部同期についての説明は10項の「外部同期制御」を参照してください。

お願い
・内部同期時（SYNC INTと表示されているとき）は、SYNCの設定項目（H-PHASE、SC-PHASE、SC-FINE）を設定することはできません。

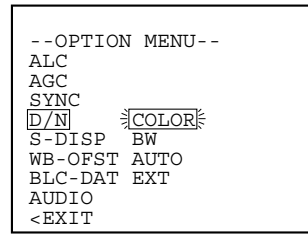
13.11 D/N（デイナイトの設定）

D/Nは、デイナイト機能を設定する項目です。
カメラを白黒モードに切り替えて感度アップさせることができます。工場出荷時はカラーモードに設定されています。

（1）オプションメニューでD/Nにカーソルを合わせます。



（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。
UPボタン、DOWNボタンでデータを設定します。
設定できる機能はCOLOR、BW、AUTO、EXTです。
（3）希望の設定でCENTERボタンを押して決定します。
カーソルはD/Nに移動します。



① COLOR について

デイナイト機能は動作しません。カメラはカラーモード固定で、カラー映像を出力します。

② BW について

カメラは白黒モード固定で、白黒映像を出力します。

③ AUTO について

被写体の明るさを自動的に判断して、カラーモードと白黒モードを自動的に切り替えます。暗い場合は白黒モードに、明るい場合はカラーモードになります。

④ EXT について

カメラ背面にある外部制御端子から白黒モードとカラーモードの切り替えを制御します。端子間をショートすると白黒モードになります。外部制御端子については12項の「外部制御端子」を参照してください。

デイナイト機能についての説明は6項の「DAY/NIGHT（デイナイト）機能」を参照してください。

お願い

- カラーと白黒が切り替わる時に、映像にノイズが出る場合があります。また、音声機能をお使いの場合はフィルタ切り替えのモータ音が聞こえますが故障ではありません。
- 白黒とカラーに切り替える明るさのレベル、時間を変更したい場合は、スペシャルメニューで設定してください。設定方法については 14 項の「スペシャルメニューによる設定」を参照してください。
- 電子高感度モードをデイナイト機能より優先して動作させる場合は、スペシャルメニューで優先順位を変更してください。工場出荷時はデイナイト機能が優先して動作する設定にしてあります。設定方法については 14 項の「スペシャルメニューによる設定」を参照してください。

ポイント

- 近赤外ランプを使用した場合、カラー映像と白黒映像で明るさが極端に変わるため、制御が誤動作することがあります。そのような場合にはスペシャルメニューで「INF-DET」を ON に設定してください。設定方法は 14 項の「スペシャルメニューによる設定」を参照してください。

13.12 S-DISP（感度表示機能の設定）

S-DISP は、カメラの現在の感度（電子高感度の倍率）を画面に表示させる機能です。
表示位置は画面の４隅のいずれかに設定できます。表示は３桁の数字で行います。
（例：× 002）

（１）オプションメニューでS-DISPにカーソルを合わせます。

```
--OPTION MENU--
ALC       00
AGC      24DB
SYNC     INT
D/N      COLOR
S-DISP   OFF
WB-OFST   00
BLC-DAT   00
AUDIO    OFF
<EXIT
```

（２）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。
UPボタン､DOWNボタンで表示方法を設定します。
設定できる機能は OFF、ON：UL（画面の左上）、ON：UR（画面の右上）、ON：DL（画面の左下）、ON：DR（画面の右下）です。

（３）希望の設定でCENTERボタンを押して決定します。
カーソルは S-DISP に移動します。

```
--OPTION MENU--
ALC
AGC
SYNC
D/N
S-DISP   OFF
WB-OFST  ON:UL
BLC-DAT  ON:UR
AUDIO    ON:DL
<EXIT    ON:DR
```

お願い

- 電子シャッタが 1/60（1 倍）以下の場合は× 001 と表示します。
- 表示文字（CHARA）の表示位置とS-DISPの表示位置が重なった場合は､S-DISP の表示が優先されます。その場合は重ならないように設定してください。
- OSD メニューを表示中のときは感度の表示を行いません。
- 映像の表示範囲の狭いモニタでは､感度の表示文字が一部欠ける場合があります。

13.13 WB-OFST（ホワイトバランスのオフセット調整）

WB-OFST は、ホワイトバランスのオフセットを設定する項目です。
ホワイトバランスがAUTOモードの場合、ホワイトバランスの収束点を赤方向あるいは青方向にオフセットをつけ、好みの色調を得ることができます。
ホワイトバランスの設定は､「13.3 WB（ホワイトバランスの設定）」を参照してください。

（１）オプションメニューで WB-OFST にカーソルを合わせます。

```
--OPTION MENU--
ALC       00
AGC      24DB
SYNC     INT
D/N      COLOR
S-DISP   OFF
WB-OFST   00
BLC-DAT   00
AUDIO    OFF
<EXIT
```

（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。UPボタン、DOWNボタンにてデータを設定します。ホワイトバランスの収束点は、データをプラス方向に設定すると赤側に、データをマイナス方向に設定すると青側にシフトします。
データは -20 から 20 の範囲で調整できます。
（3）希望のデータに設定したらCENTERボタンを押してデータを決定します。カーソルは WB-OFST に移動します。

```
--OPTION MENU--
ALC
AGC
SYNC
D/N
S-DISP
WB-OFST  00
BLC-DAT
AUDIO
<EXIT
```

13.14 BLC-DAT（逆光補正の補正量の調整）

BLC-DAT は逆光補正処理の補正量を調整する項目です。
逆光補正のエリアを選択してある場合、補正量を変えることによって画面の明るさを調整することができます。
逆光補正の設定は、「13.2 BLC（逆光補正の設定）」を参照してください。

（1）オプションメニューで BLC-DAT にカーソルを合わせます。

```
--OPTION MENU--
ALC       00
AGC     24DB
SYNC     INT
D/N      COLOR
S-DISP   OFF
WB-OFST   00
BLC-DAT   00
AUDIO    OFF
<EXIT
```

（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。UPボタン、DOWNボタンにてデータを設定します。カメラが逆光状態と判断している場合は、データを大きくすると画面が明るくなり、小さくすると暗くなります。
データは -20 から 20 の範囲で調整できます。
（3）希望のデータに設定したらCENTERボタンを押してデータを決定します。カーソルBLC-DATに戻ります。

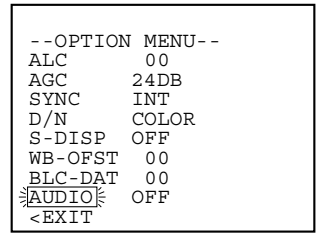
```
--OPTION MENU--
ALC
AGC
SYNC
D/N
S-DISP
WB-OFST
BLC-DAT  00
AUDIO
<EXIT
```

※　逆光補正（BLC）のエリアを選択してある場合でも、カメラが逆光状態と判断していない場合は、データを変えても明るさは変わりません。その場合はメインメニューのALCで明るさを調整してください。逆光状態とは選択したエリアの外に強い光が入った場合等、エリアの外と中の明るさの差が大きい状態です。

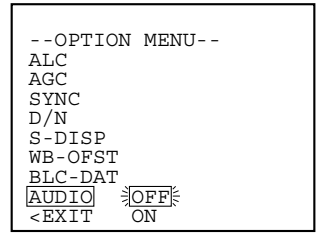
13.15 AUDIO（音声機能の設定）

AUDIOは、映像信号に音声信号を多重して出力する音声機能を設定する項目です。
ONにすると音声信号を多重して出力します。

（1）オプションメニューでAUDIOにカーソルを合わせます。



（2）RIGHTボタンを押すとカーソルはデータに移動します。
（3）UP ボタン、DOWN ボタンで OFF あるいは ON にカーソルを合わせます。
（4）CENTER ボタンを押して決定します。
カーソルは AUDIO に戻ります。



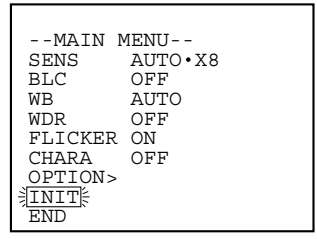
お願い

・音声を出力する場合は、専用システムが必要になりますので販売店にご相談ください。専用システムを使用せずに音声機能をONしますと、画面の色が変化したりビートがでる場合があります。

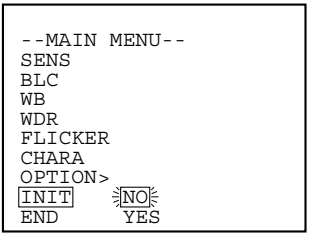
13.16 INIT（画面メニューの初期化）

INIT は画面メニューの設定内容を工場出荷状態に初期化する機能です。
スペシャルメニューの設定内容も初期化されます。

（1）メインメニューにてINITにカーソルを合わせます。



（2）RIGHT ボタンを押します。
NO にカーソルが移動します。
（3）初期化しない場合はNOに、初期化する場合はYES にカーソルを合わせ CENTER ボタンを押します。



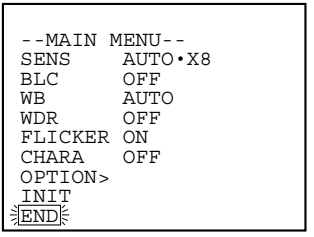
工場出荷時の設定内容（INIT で初期化を実行すると下記の内容になります）

SENS	AUTO・×8（MANU は× 1、AES は×8になります）	
BLC	AUTO	
WB	AUTO	（MANU のデータは RG-25, BG-10 となります）
WDR	OFF	
FLICKER	ON	
CHARA	OFF	（入力した文字はすべてクリアされます）
OPTION		
ALC	00	
AGC	24DB	
SYNC	EXT・VBS	H-PHASE 50
		SC-PHASE 0
		SC-FINE 50
D/N	COLOR	
S-DISP	OFF	
WB-OFST	00	
BLC-DAT	00	
AUDIO	OFF	

13.17 END（画面メニューの終了）

画面のメニューを終了させます。

（1）画面メニューを終了させるには、メインメニューでENDにカーソルを合わせCENTERボタンを押して終了します。



お願い

- 設定データをカメラに記憶させるには、必ず END で画面メニューを終了してください。その時点でカメラが設定したデータを記憶します。
- 画面メニューが表示されている状態でカメラへの電源の供給を止めると表示された設定内容は記憶されず前回設定したデータのままとなりますのでご注意ください。

14. スペシャルメニューによる設定

本カメラは、スペシャルメニューで映像、機能の細かい設定を行えます。通常はメインメニューから基本的な設定は行えますが、使用条件によってカメラの設定を微調整したい場合には、本メニューで設定してください。スペシャルメニューで設定できる内容を下記に示します。

- 輪郭補正の設定（37 ページ参照）
- ノイズリダクションの設定（38 ページ参照）
- 色カットの設定（38 ページ参照）
- 白キズ補正の設定（39 ページ参照）
- オートホワイトバランスの制御範囲の設定（39 ページ参照）
- 明るさ制御の細かい設定（40 ページ参照）
- WDR 機能の細かい設定（41 ページ参照）
- デイナイト機能の細かい設定（43 ページ参照）
- 画面メニューの終了（46 ページ参照）

スペシャルメニューを表示するには、RIGHTボタンとLEFTボタンを同時に約2 秒間押します。すると右図に示すメニューが表示され、現在の設定状態を示します。操作方法はメインメニューと同様です。（18ページ参照）画面メニューを終了するときにはENDにカーソルを合わせて、CENTERボタンを押してください。

```
 --SPECIAL MENU--
 DETAIL   STANDARD
 DNR      NORMAL
 COL-CUT  OFF
 D-CORR   ON
 AWB-FRM  NORMAL
 AE-SET>
 WD-SET>
 DN-SET>
 END
```

工場出荷状態に戻す場合は、メインメニューの初期化を実行してください。操作方法は「13.16 INIT（画面メニューの初期化）」を参照してください。

14.1 DETAIL（輪郭補正の設定）

DETAILは、画像の輪郭補正を設定する項目です。SHARP、STANDARD、SOFTから選ぶことができます。輪郭をもっとくっきりさせたい場合はSHARPを、もっとやわらかくさせたい場合はSOFTを選びます。

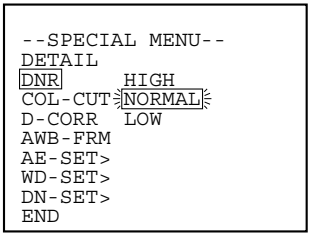
（1）スペシャルメニューのDETAILにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTERボタンを押して決定します。

```
 --SPECIAL MENU--
 DETAIL   SHARP
 DNR      STANDARD
 COL-CUT  SOFT
 D-CORR
 AWB-FRM
 AE-SET>
 WD-SET>
 DN-SET>
 END
```

14.2 DNR（ノイズリダクションの設定）

ノイズリダクションの効果を設定する項目です。LOW、NORMAL、HIGHから選択できます。
LOW、NORMAL、HIGH の順でノイズ低減の効果が大きくなります。
通常は NORMAL でご使用ください。

（1）スペシャルメニューの DNR にカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。



お願い

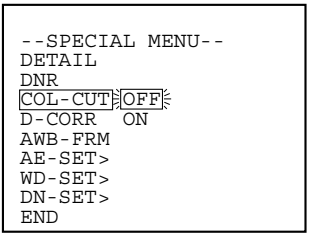
・DNR をHIGHにすると、ノイズ低減の効果は大きくなりますが、動きのある被写体を写した場合に残像が目立つことがあります。

14.3 COL-CUT（色カットの設定）

映像出力に色信号をつけるかつけないかを設定する項目です。白黒映像にしたい場合はONに設定してください。

ON ：映像信号の色信号がカットされて白黒映像を出力します。
　　ただし、バースト信号は出力されます。
OFF：通常のカラー映像を出力します。

（1）スペシャルメニューの COL-CUT にカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。



お願い

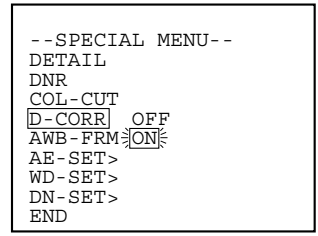
・D/N 機能の白黒モードとは異なり、感度はアップしません。

14.4 D-CORR（白キズ補正の設定）

撮像素子（CCD）固有の高輝度な固定パターンノイズを補正する機能を設定する項目です。通常は ON でご使用ください。

ON ： 補正を行います。
OFF： 補正を行いません。

（1）スペシャルメニューのD-CORRにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。



お願い

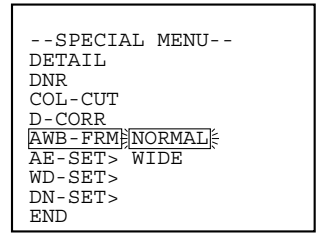
・白キズ補正は電子高感度が動作すると機能します。補正処理が動作すると水平解像度が若干劣化する場合があります。

14.5 AWB-FRM（オートホワイトバランスの制御範囲の設定）

ホワイトバランス AUTO モードの制御範囲を設定する項目です。通常は NORMAL でご使用ください。

NORMAL ： AUTO の動作色温度範囲は 2500K から 7000K です。
WIDE ： AUTO の動作色温度範囲を広くします。

（1）スペシャルメニューのAWB-FRMにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。



お願い

・AWB-FRMの設定をWIDEにして引き込み動作を行った後にNORMALに切り換えた場合は、ホワイトバランスが正常に動作しなくなる場合があります。その場合には、カメラの電源を入れ直してください。
・WIDEの設定は色の付いた物を白くなるように引き込み易くなるため、結果として映像信号の色合いが不自然になる場合があります。

14.6 AE-SET ＞（明るさ制御の細かい設定）

AE-SET メニューは明るさ制御の細かい設定を行うメニューです。
次の項目が設定できます。

- デイナイト機能と電子高感度機能の動作優先順位の設定（40 ページ参照）
- 明るさ制御のピークと平均の比率調整（41 ページ参照）

（1）AE-SET メニューに入るには、スペシャルメニューでAE-SET>にカーソルを合わせ、RIGHTボタンを押します。
（2）スペシャルメニューに戻る場合には、AE-SET メニューで <EXIT にカーソルを合わせて LEFT ボタンを押します。

```
--SPECIAL MENU--
DETAIL   STANDARD
DNR      NORMAL
COL-CUT  OFF
D-CORR   ON
AWB-FRM  NORMAL
AE-SET>
WD-SET>
DN-SET>
END
```

14.7 PRIOR（デイナイト機能と電子高感度機能の動作優先順位の設定）

被写体が暗くなり感度アップが必要になった場合、デイナイト機能の白黒モードと電子高感度機能のどちらを先に動作させるか設定する項目です。
暗い状況で被写体の動きを正確にとらえたい場合はデイナイト機能を先に動作させてください。（設定を DN にしてください）

SENS：電子高感度機能が先に動作します。
DN　：デイナイト機能が先に動作します。

（1）AE-SET メニューの PRIOR にカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。

```
--AE-SET MENU--
PRIOR    DN
PK/AVE   SENS
<EXIT
```

お願い

・優先順位の設定はカラーから白黒に変わる場合に有効です。

14.8 PK/AVE（明るさ制御のピークと平均の比率調整）

明るさ制御を画面全体のピーク値と平均値のどちらで制御するかを設定する項目です。その比率を 10/00 から 00/10 の 10 段階で調整できます。数字はピークと平均の比率（比）を表します。通常は 00/10 でご使用ください。

10/00：画面のピーク値によって明るさを制御します。
00/10：画面全体の平均値によって明るさを制御します。

（1）AE-SET メニューの PK/AVE にカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの比率に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。

```
--AE-SET MENU--
PRIOR
PK/AVE  00/10
<EXIT
```

明るさの平均値とは、画面全体の明るさを平均化した値になります。
ピーク値とは画面全体の中で最も明るい部分の明るさの値になります。画面の中の最も明るい部分の明るさを最適にしたい場合はピークの比率が大きくなるように設定してください。

お願い

- メインメニューの「BLC」でエリアを指定した場合、あるいは「WDR」を ON（ON：L、ON：M、ON：H）に設定した場合は、PK/AVE の設定にかかわらず、ピーク値による制御は行いません。
- EE（VIDEO）タイプの自動絞りレンズを使用する場合は、レンズ側のピーク / 平均の設定を平均値が最大となるようにして、PK/AVE を設定してください。あるいは、レンズ側のピーク / 平均の設定を使用する場合は、PK/AVE は 00/10 に設定してください。

14.9 WD-SET ＞（WDR 機能の細かい設定）

WD-SET メニューは WDR 機能の細かい設定を行うメニューです。
次の項目が設定できます。

- WDR の動作モード設定（42 ページ参照）
- 高輝度部分の明るさ調整（42 ページ参照）
- 高輝度部分の色ゲインの設定（43 ページ参照）

（1）WD-SET メニューに入るには、スペシャルメニューで WD-SET> にカーソルを合わせ、RIGHT ボタンを押します。
（2）スペシャルメニューに戻る場合には、WD-SET メニューで <EXIT にカーソルを合わせて LEFT ボタンを押します。

```
--SPECIAL MENU--
DETAIL   STANDARD
DNR      NORMAL
COL-CUT  OFF
D-CORR   ON
AWB-FRM  NORMAL
AE-SET>
WD-SET>
DN-SET>
END
```

14.10 WD-MODE（WDR の動作モード設定）

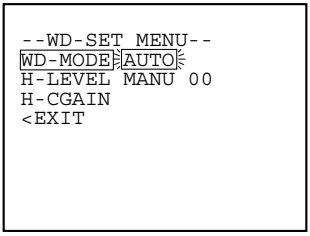
WDR の動作モードを設定する項目です。通常は AUTO でご使用ください。

AUTO ： 被写体の明るさにより最適なダイナミックレンジに自動制御します。

MANU ： ダイナミックレンジを所定の値に固定にします。メインメニューの「SENS」が AUTO・×１の場合にのみ動作します。
効果の設定は 00 から 20 の範囲で行えます。明るい部分の映像を取り込む電子シャッタの速度は 1/100s から 1/50000s まで変化します。

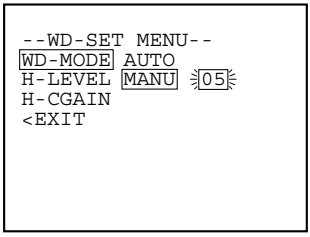
（１）WD-SET メニューの WD-MODE にカーソルを合わせます。

（２）RIGHT ボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UP ボタン、DOWN ボタンで好みの設定に合わせます。決定する場合は CENTER ボタンを押します。



（３）MANU のダイナミックレンジの設定を変更する場合は、カーソルが MANU の状態で RIGHT ボタンを押して、カーソルを設定データに移動させ、UP ボタン、DOWN ボタンで好みのダイナミックレンジに設定します。

（４）CENTER ボタンを押して決定します。



お願い

・ WD-MODE の設定は、「WDR」の設定が ON（ON：L、ON：M、ON：H）の場合に有効となります。

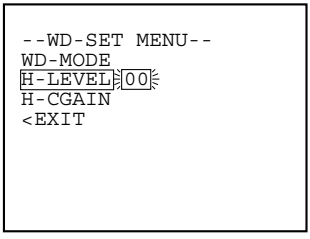
14.11 H-LEVEL（高輝度部分の明るさ調整）

WDR 機能が動作している時の、高輝度部分の明るさレベルを調整する項目です。
データは -30 から 30 の間で調整できます。データを大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。
被写体の状態によって明るい部分の映像が見やすくなるように調整してください。

（１）WD-SET メニューの H-LEVEL にカーソルを合わせます。

（２）RIGHT ボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UP ボタン、DOWN ボタンで好みの設定に合わせます。

（３）CENTER ボタンを押して決定します。



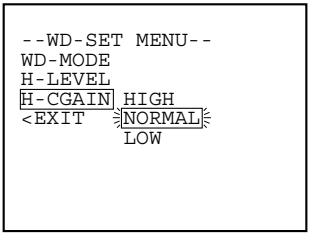
お願い

・WD-MODE が MANU の設定の場合は機能しません。

14.12 H-CGAIN（高輝度部分の色ゲインの設定）

WDR 機能が動作している時の、高輝度部分の色ゲインを設定する項目です。
設定はLOW、NORMAL、HIGHから選択できます。LOW、NORMAL、HIGHの順で色のレベルが大きくなります。被写体の状態によって明るい部分の画質がよく見えるように設定してください。通常はNORMAL でご使用ください。

（1）WD-SET メニューのH-CGAINにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。

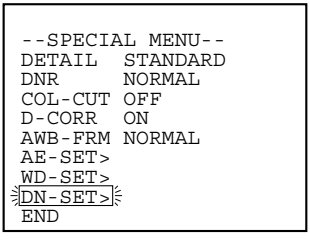


14.13 DN-SET ＞（デイナイト機能の細かい設定）

DN-SET メニューはデイナイト機能の細かい設定を行うメニューです。
次の項目が設定できます。

- 近赤外光の検出設定（44 ページ参照）
- 切り替え制御の明るさ設定（44 ページ参照）
- 切り替え制御の時間設定（45 ページ参照）
- 白黒モードの解像度設定（45 ページ参照）

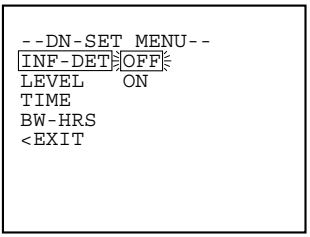
（1）DN-SET メニューに入るには、スペシャルメニューでDN-SET> にカーソルを合わせ、RIGHTボタンを押します。
（2）スペシャルメニューに戻る場合には、DN-SET メニューで <EXIT にカーソルを合わせてLEFT ボタンを押します。



14.14 INF-DET（近赤外光の検出設定）

デイナイト機能のAUTOモードで動作している時に、近赤外光を簡易的に検出して白黒からカラーに切り替わる誤動作を防止する機能を設定する項目です。
夜間に近赤外ランプを使用した場合は、カラー映像と白黒映像で明るさが極端に変わるためデイナイトのAUTOモードの制御が誤動作することがあります。そのような場合はこの設定をONにしてください。OFFにすると機能しません。

（1）DN-SETメニューのINF-DETにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTERボタンを押して決定します。



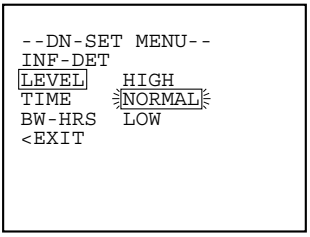
お願い

- 近赤外ランプの光の波長は800nm以上のものをご使用ください。
- 近赤外光は撮像素子（CCD）の色情報から簡易的に検出しています。そのため被写体の条件によっては誤動作する場合があります。

14.15 LEVEL（切り替え制御の明るさ設定）

デイナイトのAUTOモードで、カラー映像から白黒映像に切り替わる明るさのレベルを設定する項目です。設定はLOW、NORMAL、HIGHから選択できます。LOW、NORMAL、HIGHの順でカラー映像から白黒映像に切り替わる時の明るさのレベルが大きくなります。

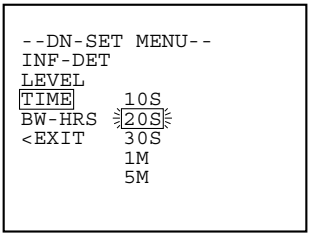
（1）DN-SETメニューのLEVELにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTERボタンを押して決定します。



14.16 TIME（切り替え制御の時間設定）

デイナイトのAUTOモードで、カラー映像から白黒映像へ、白黒映像からカラー映像へ切り替わる時間を設定する項目です。設定は 10S、20S、30S、1M、5M（S：秒、M：分）から選択できます。設定時間を大きくすると、切り替わる条件を満たしてから実際に切り替わるまでの時間が長くなります。

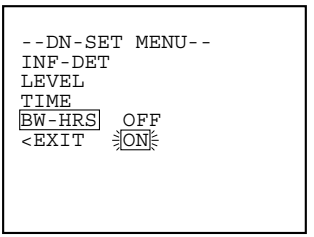
（1）DN-SETメニューのTIMEにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。



14.17 BW-HRS（白黒モードの解像度設定）

デイナイト機能の白黒モードの水平解像度を設定する項目です。
ON ： 水平解像度がアップします。（約 570 本）
OFF： 通常の解像度です。（約 480 本）

（1）DN-SETメニューのBW-HRSにカーソルを合わせます。
（2）RIGHTボタンを押してカーソルを設定データに移動させます。UPボタン、DOWNボタンで好みの設定に合わせます。
（3）CENTER ボタンを押して決定します。



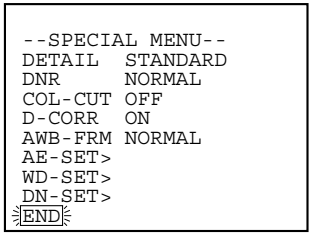
お願い

・白黒モードでBW-HRS を ON の設定にした場合、被写体の条件によって画面に横スジ状のノイズが見える場合があります。

14.18 END（画面メニューの終了）

画面のメニューを終了させます。

（1）画面メニューを終了させるには、スペシャルメニューでENDにカーソルを合わせCENTERボタンを押して終了します。



お願い

- 設定データをカメラに記憶させるには、必ずENDで画面メニューを終了してください。その時点でカメラが設定したデータを記憶します。
- 画面メニューが表示されている状態でカメラへの電源の供給を止めると表示された設定内容は記憶されず前回設定したデータのままとなりますのでご注意ください。

15. 最大ケーブル長（ＩＫ－６４７ＮＰ）

本機を専用電源装置に接続した場合の最大接続数およびケーブルの最大延長距離は、専用電源装置のケーブル補償機能を使用した場合で下表の長さになります。

専用電源装置	同軸ケーブルの種類	本機1台の最大ケーブル長	
		デイナイト機能を使用する場合	デイナイト機能を使用しない場合
JK-V12	3C-2V	100m	160m
	5C-2V	250m	400m
	7C-2V	380m	600m
JK-FS08N JK-V43 JK-N42W	3C-2V	各100m	各160m
	5C-2V	各250m	各400m
	7C-2V	各380m	各600m
JK-N42W＋ JK-N42C	3C-2V	各100m	各160m
	5C-2V	各250m	各400m
	7C-2V	各380m	各600m
JK-FS09V	3C-2V	各100m	各160m
	5C-2V	各250m	各400m
	7C-2V	各380m	各600m

専用電源装置	同軸ケーブルの種類	本機を複数台接続した時のケーブル長	
		デイナイト機能を使用する場合	デイナイト機能を使用しない場合
JK-V12	3C-2V	―	―
	5C-2V	―	―
	7C-2V	―	―
JK-FS08N JK-V43 JK-N42W	3C-2V	各 100m	各 160m
	5C-2V	各 250m	各 400m
	7C-2V	各 380m	各 600m
JK-N42W＋ JK-N42C	3C-2V	5台まで：各 100m 6台　：トータルケーブル長 500m 7台　：トータルケーブル長 400m 8台　：接続不可	8台まで：各 160m
	5C-2V	5台まで：各 250m 6台　：トータルケーブル長 1300m 7台　：トータルケーブル長 1000m 8台　：接続不可	8台まで：各 400m
	7C-2V	5台まで：各 380m 6台　：トータルケーブル長 2000m 7台　：トータルケーブル長 1500m 8台　：接続不可	8台まで：各 600m
JK-FS09V	3C-2V	5台まで：各 100m 6台　：トータルケーブル長 500m 7台　：トータルケーブル長 400m 8台　：接続不可 9台　：接続不可	8台まで：各 160m 9台　：トータルケーブル長 1200m
	5C-2V	5台まで：各 250m 6台　：トータルケーブル長 1300m 7台　：トータルケーブル長 1000m 8台　：接続不可 9台　：接続不可	8台まで：各 400m 9台　：トータルケーブル長 3000m
	7C-2V	5台まで：各 380m 6台　：トータルケーブル長 2000m 7台　：トータルケーブル長 1500m 8台　：接続不可 9台　：接続不可	8台まで：各 600m 9台　：トータルケーブル長 4500m

トータルケーブル長とは、本機を複数台接続した時のそれぞれのケーブル長の合計で、この長さを超えて使用することはできません。

16. 故障かな？！と思われたとき

症　状	調　べ　る　と　こ　ろ
映像がでない	●レンズ に合わせてアイリススイッチが正しく設定されていますか？ ●レンズの絞りは正しく調節されていますか？ ●ケーブル類は正しく接続されていますか？ ●周辺機器やカメラ本体の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ ●ビデオモニタの入力が正しく選択されていますか？
色が正しくでない	●ビデオモニタが正しく調節されていますか？ ●照明が暗くありませんか？
色がつかない	●DAY/NIGHT 機能を AUTO でご使用の場合は、被写体が暗いと白黒の映像になります。 ●DAY/NIGHT 機能を BW の設定にしますと白黒の映像になります。 ●OSD メニューの COL-CUT（色のカット）を ON にしますと白黒の映像になります。
音声がでない	●カメラの AUDIO の設定がＯＮになっていますか？ ●スピーカー等は正しく接続されていますか？

長年ご使用のCCDカメラの点検をぜひ！！

ご使用の際、このような症状はありませんか

●電源を入れても映像が出ない。
●電源プラグ、コードが異常に熱い。
●変な臭いや音がする。
●水や異物が入った。
●煙が出たりする。
●その他の異常や故障がある。

➡

＜ご使用中止＞

このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

17. 保証とアフターサービス

● 保証書について

保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間：お求めの日から一年間です

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

「使用・設置上のお願い」をはじめ、取扱説明書の内容をもう一度ご覧いただきなお異常のあるときは必ず電源の供給を停止してから、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。アフターサービスについてご不明な点はお求めの販売店にお問い合わせください。

● ＜ご連絡していただきたい内容＞

・ご住所　・ご氏名　・電話番号・製品名　・形　名
・ご購入日（保証書をご覧ください）・故障内容
・異常の状況（できるだけ詳しく）

● 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品について

補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らさせていただきます。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

18. 仕　様

	IK-647	IK-647NP
電　源	AC100V ± 10% 50Hz または 60Hz	専用コントローラより DC 電源を供給
消費電力	6.3W（アイリス負荷なし）	5.0W（DC22V 時、アイリス負荷なし）
撮像素子	1/3 インチ CCD イメージセンサー	
有効画素数	水平 768　垂直 494	
撮像面積	水平 4.88mm　垂直 3.66mm	
走査方式	2：1 インターレース	
走査周波数	水平 15.734kHz　垂直 59.94Hz	
同期方式	内部／外部（自動切換）	
解像度	水平 480TV 本／垂直 350TV 本	
最低被写体照度	0.2lx　(F0.8、3000K、AGC 30dB、標準感度、FLICKER OFF、カラーモード) ＊1 0.02lx (F0.8、3000K、AGC 30dB、標準感度、FLICKER OFF、白黒モード) 0.002lx (F0.8、3000K、AGC 30dB、高感度×128倍、カラーモード)	
S／N	50 dB（標準感度、AGC OFF、WDR OFF、BLC OFF）	
映像出力	VBS 1.0V(p-p)　NTSC 方式準拠　75 Ω不平衡	
外部同期入力	VBS 1.0V(p-p) BNC 位相調整機能あり	VD 4.0V(p-p) ピデオ多重 （専用コントローラより供給）
ホワイトバランス	AUTO ／ MANU ／ INDOOR1 ／ INDOOR2 ／ OUTDOOR	
AGC	OFF ／ 18dB ／ 24dB ／ 30dB（上限値）	
電子高感度	標準感度の 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 32, 64, 128 倍（AUTO/MANU 設定）	
自動感度切換	上記電子高感度の倍率の上限値設定により可能	
電子シャッタ	AES（自動）／ 1/100s, 1/250s, 1/500s, 1/1000s, 1/2000s, 1/4000s, 1/10000s	
ワイドダイナミックレンジ機能	あり	
デイナイト機能	あり	
音声出力	11.2 MHz　FM 変調（ビデオ多重　出荷時：OFF）	
レンズマウント	CS マウント	
レンズ	なし	
アイリス切換	DC/EE　背面 SW 切換（出荷時：DC）	
アイリス調整	あり（OSD メニュー設定）	
逆光補正	OFF ／画面上 2/3 ／画面下 2/3 ／画面中央 1/3 ／画面中央 1/6 ／画面両側 1/6 ／ AUTO（自動）	
文字表示機能	最大 20 文字表示可能（英数字、カタカナ、記号、漢字）	
遠隔操作	RS-232C 端子より可能	
動作周囲温度／湿度	− 10℃～＋ 50℃（推奨：0℃～ 40℃）／ 30% ～ 90%	
外形寸法	幅 70 mm　高さ 62 mm　奥行 135mm（突起部除く）	
質量	約 500g	約 450g

＊1：3000K のハロゲンランプにての測定値です。

別売品

IK-647NP 専用電源装置		
品名・形名	1 局用 NP 電源アダプタ	JK-V12 （音声機能有り）
	4 局用 NP 電源アダプタ	JK-N42W（音声機能無し）／ JK-V43 （音声機能有り）
	8 局用マルチプレクサ（4 局 NP 電源内蔵）	JK-FS08N（音声機能有り）
	9 局用マルチプレクサ（9 局 NP 電源内蔵）	JK-FS09V（音声機能有り）

● 意匠、仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

エイスウジ

０１２３４５６７８９
ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭ
ＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
．，：？➡⬅⬆⬇↘↖↙↗
＋－Ｘ／＆＜＞（）

カナ

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス
セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ
ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ
リ ル レ ロ ワ ヲ ン ャ ュ ョ ッ ァ ィ
ェ ォ ゛ ゜

カンジ1

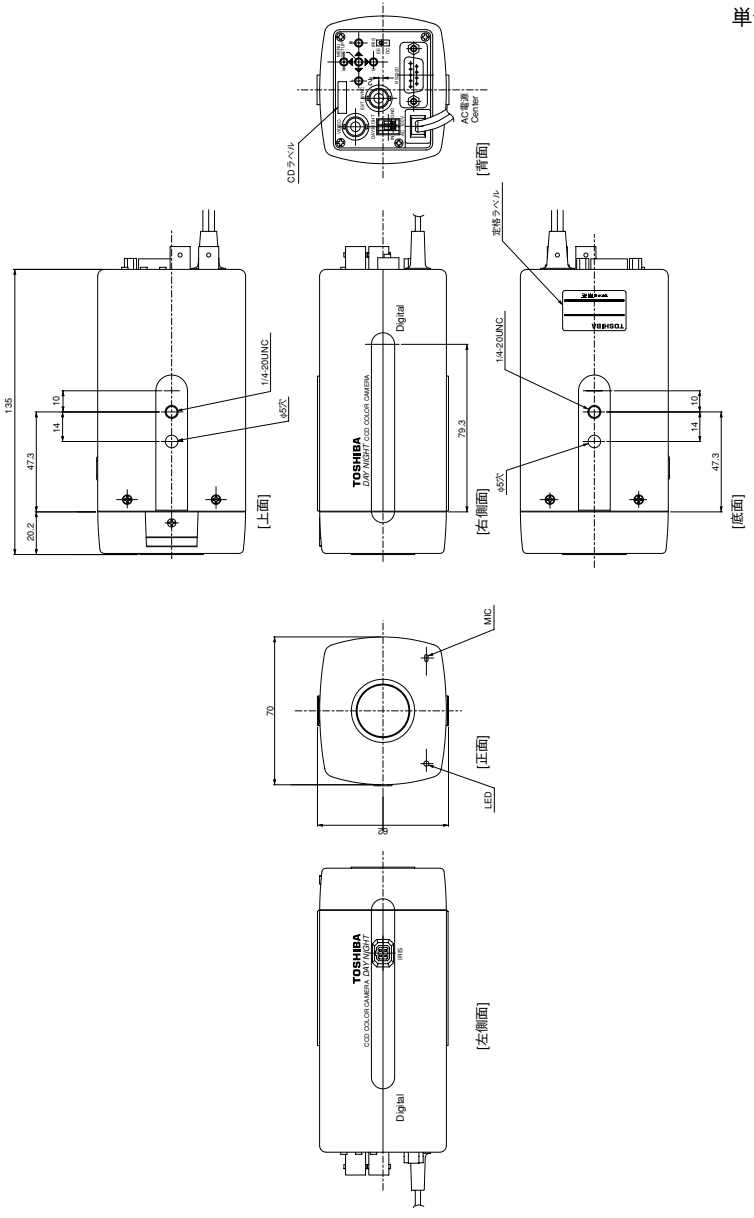
館系港時森
害下口自信
外金坑持上
海局高市小
架境交視除
河橋後山所
火供空作処
央御国災出
煙器合差終
駅岸玄左受
浦缶原砂取
雨監月谷車
右関計号室
維管形溝事

カンジ2

池統排坂湾
地土日本路
峠電場北炉
大田年防量
操点入方料
送堤南放流
前底内歩裏
川通沢変理
雪沈道分屋
設張同部野
西町島備門
正貯東盤木
制駐棟発面
水中塔倍務

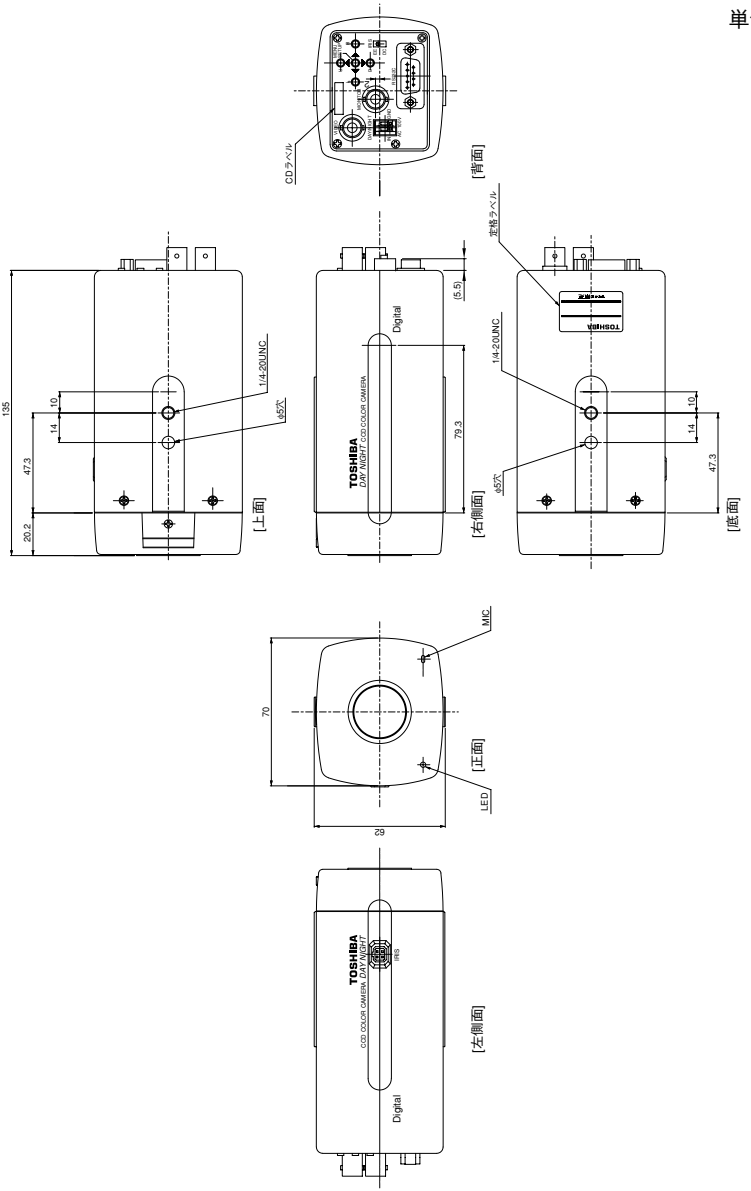
IK-647

単位　mm


[背面]
CDラベル
AC電源
Center
[上面]
135
47.3
20.2
14
10
1/4-20UNC
φ5穴
[右側面]
Digital
TOSHIBA
79.3
[底面]
定格ラベル
TOSHIBA
1/4-20UNC
φ5穴
14
10
47.3
[正面]
MIC
LED
70
60
[左側面]
TOSHIBA
Digital

IK-647NP

単位　mm



この裏に保証書があります。

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、輸送等による故障および損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）本書の指示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書替えられた場合。
   （ヘ）各部の点検または定期保守に要する費用。
   （ト）車両、船舶に備品として搭載した特殊使用の場合に生じる故障および損傷。
   （チ）本製品以外に故障原因がある場合、または改造を要する場合。
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らさせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

東芝映像機器保証書

形 名	**IK-647/IK-647NP**	
★お客様	お名前	ふりがな　　様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	**1 年**　★お買い上げ日　□□年□□月□□日から
★ご販売店		住所・店名 電話

株式会社 **東芝**
映像ネットワーク事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦1丁目1番1号

本書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に事故が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＊ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
映像ネットワーク事業部　映像システム部
〒105－8001　東京都港区芝浦1丁目1番1号
電話（03）3457－8404
＊住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

V1.0